

# 競技注意事項

## 1 競技規則について

本大会は、2024年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに、本大会の申し合わせ事項によって行う。なお、TR5.2及び(国内)競技用靴に関する主要規則を適用する。ただし、フィールド競技用シューズについては適用除外措置とする。

## 2 競技場の使用について

(1) 練習、ウォーミングアップはメイン競技場・補助競技場を使用し、使用可能な時間や場所は以下のとおりとする。また、公開練習要項の記載事項および競技役員の指示により行う。

期 日	場 所	開門時刻	練習時間
大会前日(8月6日)	本競技場全面	10:00	10:30~16:00
	補助競技場	12:00	12:30~16:00
大会1日目(8月7日)	本競技場全面	7:30	7:45~13:00
	本競技場バックストレッチ		13:05~14:30
	(開会式の時10:50~11:30は練習を中断する)		
	補助競技場	7:30	7:45~16:30
大会2日目(8月8日)	本競技場全面	7:30	7:45~9:30
	本競技場バックストレッチ		9:35~13:20
	(11:40~12:10は練習を中断する)		
	補助競技場	7:30	7:45~14:30

- (2) 服装、競技用靴、アスリートビブスについては、競技規則TR5による。スパイクピンの長さは9mm(走高跳は12mm)以内とする。いずれの場合も本数は11本以内とし、スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の規定に適合するように作られていなければならない。
- (3) 医務室(救護室)は本競技場内1階正面スタンド下に設置する。また、補助競技場にも救護所を設置する。
- (4) 本競技場(競技エリア)及び補助競技場は、ADカードのない者は入場できない。また、備え付け以外の用器具は原則使用できない。(公開練習要項 参照)
- (5) 競技開始前の本競技場における練習中は、監督ADを所持していれば、グラウンドレベルに降りることができる。また、その際の電子機器の持ち込みも認める。
- (6) 競技場・補助競技場内における貴重品の管理は各自の責任において行う。

## 3 競技者の招集について

- (1) 招集所は本競技場Dゲート(200mスタート付近)外側付近に設ける。
- (2) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものと処理し、出場を認めない。
- (3) 招集完了時刻の20分前から待機できる場所を設ける。(四種競技・棒高跳を除く)なお、棒高跳の招集については競技場で行う。
- (4) 競技への出場をやむを得ず棄権する場合は、招集完了時刻10分前までに競技者の所属する各団体の監督又は都県代表監督がその旨を欠場届に記入し、競技者招集所に提出する。なお、用紙はTICに用意したものが、公式HPからダウンロードしたものを使用する。
- (5) 招集完了時刻は、下記の通りとする。なお、招集開始時刻は招集完了時刻の15分前とする。

種 目	項 目	招集完了時刻
トラック種目	四種競技・リレーを含む全トラック競技	競技開始20分前
フィールド種目	走高跳・走幅跳・砲丸投・円盤投	競技開始70分前
	棒高跳	競技開始100分前
四種競技	走高跳・砲丸投	競技開始50分前

## (6) 招集の手順

- ① 競技者は招集開始時刻(招集完了時刻の15分前)に招集所に集合し、完了時刻までに点呼を受ける。その際、競技役員にアスリートビブス、スパイクピン、衣類及び競技場内へ持ち込む物品等の確認を受けた後、競技役員の誘導に従って入場する。携帯電話や通信機器(通信機能のあるスマートウォッチを含む)、および音楽再生機器等は持ち込めない。(競技規則TR6.3.2)

- ②代理人による招集は原則として認めない。ただし、個人種目とリレー種目を同時に出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が当該競技の招集開始時刻までに、所定の用紙に記入し、競技者招集所に提出する。用紙はTICに用意したものか、公式HPからダウンロードしたものを使用する。
- ③四種競技出場者は、(6)－①及び(6)－②に従い、最初の種目では招集所において競技者系の点呼、2番目の種目からは招集所において混成競技系の点呼を受ける。
- (7) 招集所から本競技場への入場及び退場は全て係員の指示に従う。
- (8) トラック競技の全種目について、スタート地点で脱いだ衣類などは指定されたものに入れる。なお、その衣類などはフィニッシュ地点に係員が運搬する。ただし、400m、800mを除く。また、リレー競技については、予選・決勝ともに第2走者と第4走者の衣類を、それぞれBゲート、Dゲートに運搬する。
- (9) 個人種目とリレー種目を同時に出場する競技者は、当該競技審判の主任の判断により、フィールド競技について試技順を変更することができる。試技順を変更しても試技時間に間に合わなかった場合は、無効試技とみなす。

#### 4 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブス及び腰ナンバー標識は、主催者で準備した物を使用する。
- (2) アスリートビブスは胸と背に確実に留める。但し、跳躍競技の競技者は背又は胸につけるだけでもよい。
- (3) トラック種目に出場する競技者(リレーは4走者のみ)は、腰ナンバー標識をユニフォーム下衣の両腰やや後方に留める。
- (4) 四種競技の最終種目では、順位を示す特別なアスリートビブスの着用は行わない。

#### 5 競技方法について

- (1) 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。
- (2) スタートについて
  - ①不正スタートは1回で失格とする。四種競技は2回目以降の不正スタートをした者が失格となる。
  - ②スタートの不適切行為に関しては、審判長によって警告(イエローカード)を与えられることがある。本大会は種目ごとの累積とし、同一種目のイエローカード2枚で当該種目のみ失格(レッドカード)とし、競技会からは除外しない。
- (3) 予選のあるトラック種目は、予選ラウンドの上位8名(1500mは12名)で決勝を行う。決勝に進む人数を超えた場合は、同記録者の1/1000秒を判定して決勝進出者を決定する。それでも決められない場合は、同記録者本人あるいはその代理人が抽選を行う。決勝のレーン抽選は、主催者が公平に行う。
- (4) 長距離種目について
  - 3000mは安全確保のため、グループスタートを採用する。また、危険防止の為、第2グループのスタートラインから10m程度は代用縁石を設置しない。また、給水所をバックストレートに設ける。
- (5) リレー競技について
  - ①リレーオーダー用紙は、TICに用意したものか、公式HPからダウンロードしたものを使用する。
  - ②リレーオーダー用紙を1部作成し、第1組の招集完了時刻の2時間前から1時間前までに招集所へ提出する。
  - ③リレーオーダー用紙の監督署名は、各学校・団体の監督のものとする。
  - ④リレー競技においては、同一系のユニフォームを着用する。
  - ⑤第2～4走者は、主催者が用意したマーカーを1ヶ所使用することができる。渡されたマーカー以外の使用は認めない。
- (6) フィールド競技について
  - ①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
  - ②走幅跳、砲丸投、円盤投において、すべての競技者に3回の試技が与えられる。なお、上位8名はさらに3回の試技が与えられる。
  - ③走幅跳については、2つの並行するピットで2組に分けて決勝を行う。1組はピットA、2組はピットBで行う。3回の試技後、記録上位8名で更に3回の試技を行う。なお、4回目以降の試技はそれぞれのピットで行なう。3回目終了後に足合わせの時間は設けない。
  - ④走高跳(四種競技含む)については、2つの並行するピットで2組に分けて決勝を行う。1組はピットA、2組はピットBで行う。

⑤走高跳、棒高跳においては、連続する3回の無効試技で競技終了とする。

⑥フィールド競技者は、主催者が用意したマーカーを使用することができる（走高跳は曲走路内に限る）。渡されたマーカー以外の使用は認めない。

(7) 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は以下の通りとする。但し、悪天候などにより審判長の判断で高さを変更することもある。

決勝	練習時	最初の高さ	バーの上げ方
男子走高跳	1m60・1m80	1m65	1m70-75-80-85 以降3cm
女子走高跳	1m35・1m50	1m40	1m45-50-55-60 以降3cm
男子棒高跳	2m80・3m20 3m60・4m00	3m00	3m20-40-60 以降10cm
女子棒高跳	2m00・2m40 2m80・3m20	2m10	2m30-50-70 以降10cm
四種競技	練習時	最初の高さ	バーの上げ方
男子走高跳	1m40・1m60	1m45	1m48-51-54-57 以降3cm
女子走高跳	1m15・1m40	1m20	1m23-26-29-32 以降3cm

①走高跳・棒高跳は、最後の1人になり優勝が決まるまでは、上表の上げ幅を変えてはならない。ただし、競技規則TR26.4の場合は除く。

②第1位を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cmとする。

③棒高跳の支柱移動申請用紙は、招集時に棒高跳審判員に提出する。なお、用紙はTICに用意したものか、公式HPからダウンロードしたものを使用する。

(8) 四種競技について

①砲丸投は、すべての競技者に3回の試技が与えられる。

②走高跳は、連続する3回の無効試技で競技終了とする。

(9) 助力について

①競技者に対する助力については、競技規則TR6を適用する。

②コーチングエリアについては、スタンド最前部2列分を全周にわたり、設置する。この場所に対応すること。この場所には、監督ADを持った監督及び競技役員以外の立ち入りを禁止とする。

③フィールド競技のコーチングエリアに、階段を設置する。動画確認などの受け渡しは、選手が階段を使い電子機器を受け取り、階段の下で確認すること。競技エリア内に電子機器を持ち込まないこと。

(10) スタンドエリア

## 6 用器具について

(1) 棒高跳用ポール以外の器具は、競技場備え付けのものを使用する。

(2) 棒高跳用ポールは、個人所有のものを検査のうえ、使用することができる。ポールの検査について、女子は8月7日(水)の10時20分から、男子は8月8日(木)8時20分から棒高跳ピットで行う。

(3) 棒高跳用ポールの保管場所は、「棒高跳びポール及び荷物の輸送等について」を確認すること。

## 7 商標について

競技場内に商標名の付いた衣類・バッグ等を持ち込む場合、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守すること。これに違反した場合は、主催者で処置する。

(1) 上半身の衣類(ベスト・Tシャツ・レオタード・その他アスリートキット等)

・製造会社名/ロゴ:1つ/一箇所 40cm<sup>2</sup>以内、最大の高さ5cm以内

・アスリートスポンサー名/ロゴ:2箇所 40cm<sup>2</sup>以内、最大の高さ5cm以内

・トップス、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジャケット製造会社名/ロゴを衣類の前(右胸か左胸)に一箇所表示できる。その大きさは、40cm<sup>2</sup>以内、最大の高さ5cm以内とする。

(2) 下半身の衣類(ショーツ・タイツ・レギンス・レオタード・その他アスリートキット等)

・製造会社名/ロゴ:1箇所 40cm<sup>2</sup>以内、最大の高さ5cm

・アスリートスポンサー名/ロゴ:2箇所 40cm<sup>2</sup>以内、最大の高さ5cm

(3) その他アパレル(靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、アームバンド、メガネ、サングラスなど)

・製造会社名/ロゴ:1つ 6cm<sup>2</sup>以内、最大の高さは3cm

(4) バッグ類

・製造会社名/ロゴ:1つ 40cm<sup>2</sup>以内、最大の高さ5cm

・アスリートスポンサー名/ロゴ:2つ 40cm<sup>2</sup>以内、最大の高さ5cm

(5) すべてのタオル及びブランケット

・製造会社名/ロゴ:1つ 40cm<sup>2</sup>以内、最大の高さ5cm

・アスリートスポンサー名／ロゴ：2つ 40cm<sup>2</sup>以内、最大の高さ5cm

(6) 都道府県名／ロゴ

・所属する都道府県名／ロゴをベストまたはレオタードの前部および後部にそれぞれ1つ表示することができる。また、パンツまたはレオタード(下)にも1つ表示することができる。

(7) 競技役員に指示された場合は、その指示に従うこと。

## 8 表彰について

(1) 表彰の際には、ユニフォーム以外の都県で定められた服装とする。

(2) 各種目の入賞者は8位までとする。1位～3位までに賞状とメダルを、4位～8位までに賞状を授与する。

(3) 都県対抗は、各種目1位8点、2位7点、以下6・5・4・3・2・1点とし、その合計点で順位をつける。合計得点と同点の場合は、上位入賞者が多い都県を上位とする。

(4) 男子優勝と女子優勝の都県には河野謙三杯を、男女総合優勝の都県には白木信雄杯を授与し、男女各3位、男女総合3位までの都県には賞状を授与する。

(5) 男女各4×100mR優勝チームには優勝杯を授与する。また、前年度優勝校にはレプリカを授与する。

(6) 全競技者の中より、優秀選手として男女各1名を選考し、優秀選手賞を授与する。

## 9 結果発表と抗議について

(1) 記録の掲示は行わない。アナウンス及び大型映像装置で発表後Webに掲載する。なお、記録発表のアナウンスが行われた時刻を正式発表の時間とする。

(2) 発表された結果に対する抗議は、正式発表後(予選・決勝ともに15分以内、但し、翌日に決勝が行われる予選については30分以内)に各都県監督がTICを通じて審判長に対して口頭で行い、控室で待機する。さらに、この裁定に不満の場合は預託金一万円を添えて、TICもしくは担当総務員を通じてジュリーに文書で申し出る。なお、ジュリーの裁定が最終決定となる。

## 10 応援について

(1) 競技の妨げになるような応援は禁止する。競技役員からの指示に必ず従うこと。

(2) メインスタンドでの集団応援は禁止とする。

(3) バックスタンドやサイドスタンドにおいても、トラック競技及びフィールド競技の進行の妨げにならないようにすること。

(4) 跳躍競技の手拍子については、トップ8確定以降で、他の競技の進行の妨げにならない場合のみとする。また、四種競技では原則行わないこととする。

(5) 本競技場のメインスタンドは、テント等の設置を禁止する。なお、安全確保上の注意に従わない場合はイエローカードの対象とし、2回目はレッドカードとする。(本項以外でも安全確保に関しては同様とし、レッドカードは本大会より退場となる)

## 11 その他

(1) 大会運営の必要に応じて競技役員から指示が出たときは、その指示に従うこと。

(2) 競技中に発生した事故については、応急処置を主催者で行うが、以降の責任は負わない。

(3) 競技はすべて都県対抗であるため、競技用ユニフォームは、都県ごとに統一されたものを使用すること。なお、競技者の服装は、中学生らしく節度ある服装とすること。

(4) 本競技場内のテントの設営、のぼり旗及び横断幕の設置については、すべて係員の指示に従い、細部については「会場関係注意事項」を参照のこと。

(5) 物品の管理については、各自の責任において行い、紛失、盗難、事故などが起こらないように注意すること。

(6) ゴミの処理については、原則各都県及び各自で持ち帰り、競技場内に捨てないこと。

(7) 本大会は1都7県対抗である為、大会期間中(開会式から閉会式)は選手全員が参加すること。

(8) ADカードで規制しているエリアには、対象者以外は立ち入ることはできない。